

榊原康正市政

第2章

民と官で手を携えオール西尾でまちづくり



5月26日に行われた西尾市長選挙で、再選を果たした榊原康正市長。7月5日から榊原市政の2期目がスタートしました。今号では、榊原市長の2期目としての初登庁の模様と2期目への決意について、お伝えします。

7月5日、榊原市長が2期目の就任日を迎え、市役所に初登庁しました。市役所正面玄関では、出迎えた職員からの拍手を浴びながら、笑顔で市長室に向かいました。

市長就任式での就任あいさつでは、職員に向け「全員野球で愛するふるさとのまちづくりに取り組んでいただきたい」と2期目への決意を述べました。また、この日は就任あいさつのため議長室を訪れ、小林敏秋議長と稲垣正明副議長と面会。固い握手を交わし、健全な市政運営を誓い合いました。



- 1 5月27日、山内玄治選挙管理委員長から当選証書を受け取る榊原市長
- 2 7月5日、就任のあいさつで議長室を訪れ、小林敏秋議長（右）と稲垣正明副議長（左）と握手
- 3 7月5日、職員を前に就任のあいさつをする榊原市長



さきばらやすまさ
榑原康正市長

昭和15年4月生まれの73歳。51歳で市議に初当選。以来、市議1期、県議4期を務め、現在市長2期目。桜木町在住。

榑原市長 2期目の決意

私は今回の選挙で幅広い年代層の皆さまにご支援をいただき、再選を果たしました。私は正直に努力する人が報われる、公正な社会をつくりたいとの思いで1期目を務めてきました。今でもその気持ちは変わっていません。初心を忘れず、地道に西尾市を良くしていきたいと思っています。2期目を迎えた私の最大の責務は、新「西尾市」の将来像と新たな可能性をはっきりと示し、次のステップへと礎づくりを前進させることです。

農業副都心構想

農業、漁業の6次産業化を進めるため「農業副都心構想」を掲げます。この構想は、市の中心地である憩の農園周辺に中核施設を建設するビッグプロジェクトです。この実現に向け、7月から農林水産課内に「6次産業創造プロジェクトチーム」を立ち上げました。年度内には構想やエリアを決定し、スピード感を持って整備計画の策定を進めます。

防災・減災対策の強化

喫緊の最重要課題は、市民の生命と財産を守る防災・減

災対策です。南海トラフ大地震では、本市で1800人が死亡するとの想定が県から発表されました。被害想定が最も大きかったのは建物の倒壊や火災による被害で、本市の住宅耐震化率は推計で約70%です。自主防災会の研修会などあらゆる機会を捉えて粘り強く啓発し、早急に耐震化を進めるように呼び掛けます。

園の給食費無料化

現在、保護者が負担している保育園・幼稚園の給食費の無料化を進めるとともに、少人数学級は小学2年生から3年生までの拡大を検討します。

医学生に奨学金制度

医療体制の充実や超高齢社会に対応するため、市民病院の医師不足解消策として、市



民病院勤務を条件に医学生に対する奨学金制度を創設します。

太陽光発電事業促進



市有施設の屋根貸しによる太陽光発電事業をはじめ、メガソーラーの設置促進など、人と地球に優しいまちづくりに努めます。

「融和」と「協働」

「融和」と「協働」をさらに推し進め、あらゆる分野において市民の皆さまにお手伝いいただきながら市政を運営したいと考えています。

以上、一端を申し上げますが、民と官が手を携えオール西尾で愛するふるさとのまちづくりに全力で取り組む決意です。